

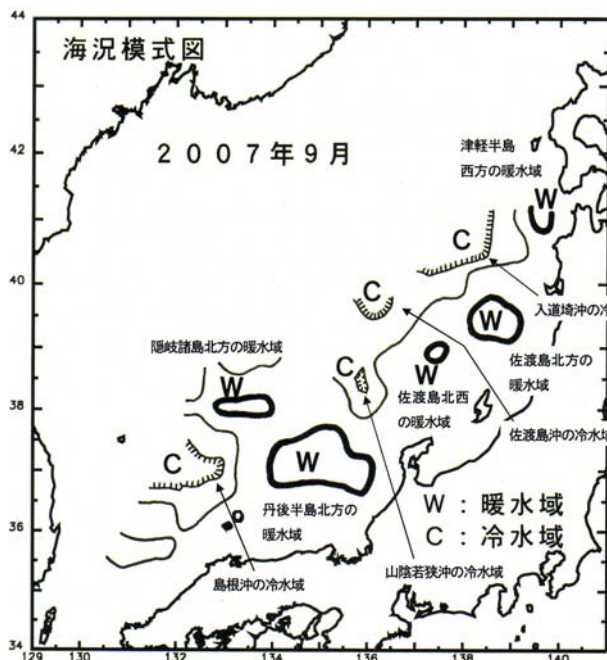
## 平成19年度第3回日本海海況予報

—別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター  
日本海区水産研究所がとりまとめた結果—

### 今後の見通し（2007年10月～12月）のポイント

対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”（+1℃程度）で経過する。

対馬暖流域の50m深水温は、西部は“平年並み”（±0.5℃程度）、北部は“やや高め”（+1℃程度）で経過する。



### 2007年10月～12月の海況

- 隠岐諸島北方及び丹後半島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。
- 佐渡島北西及び佐渡島北方の暖水域は、北東に移動する。
- 津軽半島西方の暖水域は、北上した後消滅する。
- 島根沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- 山陰・若狭沖及び入道埼沖の冷水域の張り出しは、弱い。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。

### 問い合わせ先

水産庁 増殖推進部 漁場資源課 沿岸資源班

担当：大隈、田中、佐藤

電話：03-3502-8111（内線6800）、直通電話：03-6744-2377、ファックス：03-3592-0759

当資料のホームページ掲載先 URL

<http://www/jfa.maff.go.jp/j/press/>

独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所 業務推進部

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先 URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

# 平成19年度第3回日本海海況予報

## 1. 今後の見通し（2007年10月～12月）

- (1) 隠岐諸島北方及び丹後半島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。佐渡島北西及び佐渡島北方の暖水域は、北東に移動する。津軽半島西方の暖水域は、消滅する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、平年並み。山陰・若狭沖及び入道埼沖の冷水域の張り出しは、弱い。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“平年並み”、北部は“やや高め”で経過する。

## 2. 経過（2007年6月～8月）

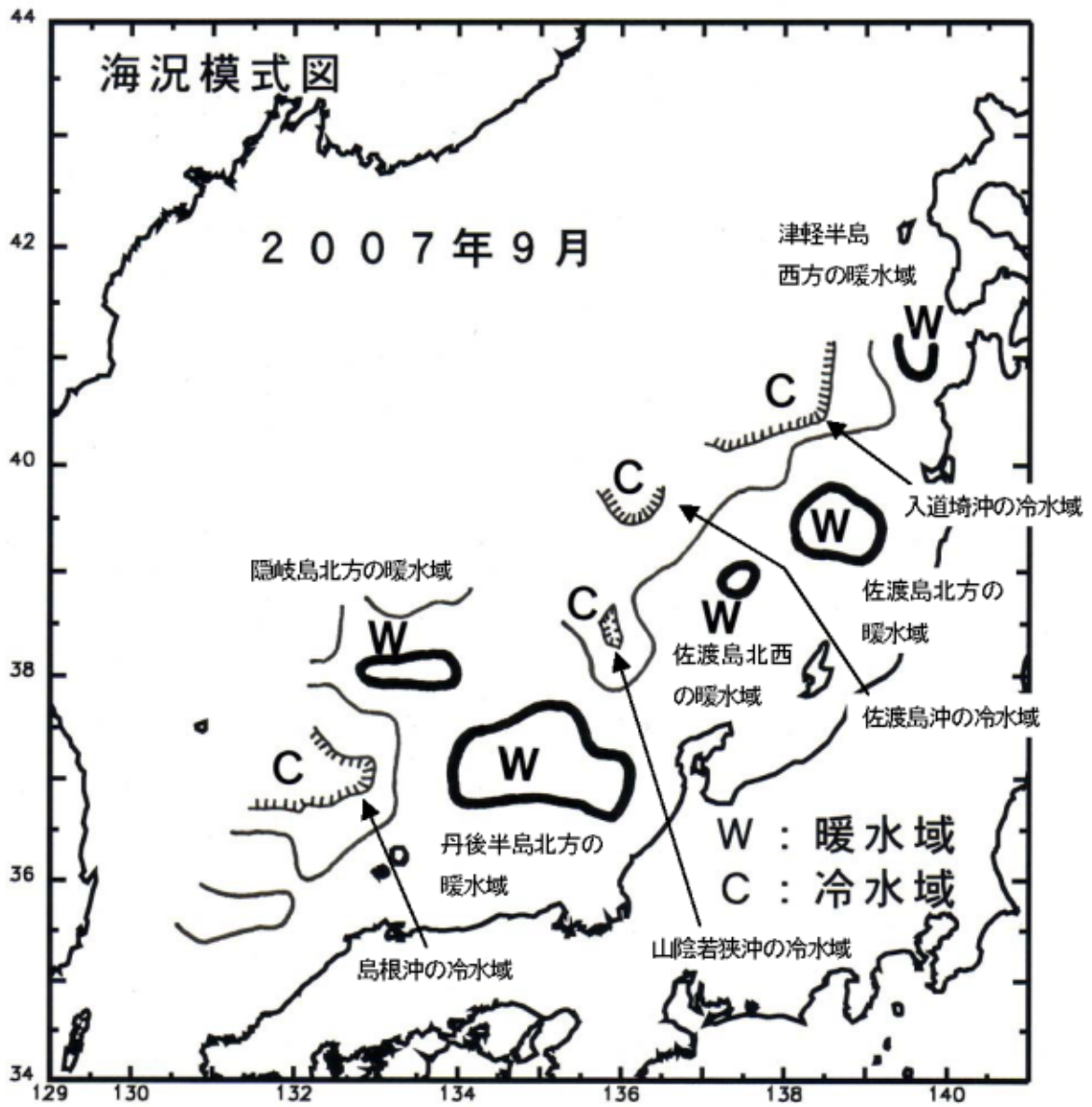
- (1) 6月に丹後半島北方でみられた暖水域は、ほぼ停滞。  
6月に佐渡島沖及び佐渡島北方でみられた暖水域は、北東に移動。  
6月に男鹿半島沖でみられた暖水域は、北上した後消滅。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸。山陰・若狭沖、佐渡島沖及び入道埼沖の冷水域は、規模は小さく離岸（6月）。
- (3) 対馬暖流域の表面水温  
6月：ほぼ全域で“平年並み”～“やや低め”。  
7月：広範囲の海域で“やや高め”～“かなり高め”となり、隠岐諸島北方、若狭湾沖及び佐渡島沖では“はなはだ高め”の海域が分布。  
8月：ほぼ全域で“平年並み”～“やや低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“かなり高め”、北部は“はなはだ高め”（4～6月平均）。

## 3. 現況（2007年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北方、丹後半島北方、佐渡島北西、佐渡島北方及び津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸。山陰・若狭沖及び入道埼沖の冷水域は、規模は小さく離岸。佐渡島沖の冷水域は、規模は小さく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、ほぼ全域で“平年並み”～“やや高め”となり、隠岐諸島～能登半島では“かなり高め”の海域が広範囲に分布。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”（7～9月平均）。

（注）引用符（ ” ” ）で囲んで表した。平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり。

- ” はなはだ高め ” : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ
- ” かなり高め ” : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ
- ” やや高め ” : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ
- ” 平年並み ” : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温
- ” やや低め ” : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の低さ
- ” かなり低め ” : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の低さ
- ” はなはだ低め ” : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の低さ



2007年9月の海況模式図

## 参 画 機 関

|               |                                |
|---------------|--------------------------------|
| 北海道立中央水産試験場   | 京都府立海洋センター                     |
| 青森県水産総合研究センター | 兵庫県但馬水産技術センター                  |
| 秋田県水産振興センター   | 鳥取県水産試験場                       |
| 山形県水産試験場      | 島根県水産技術センター                    |
| 新潟県水産海洋研究所    | 山口県水産研究センター                    |
| 富山県水産試験場      | 社団法人 漁業情報サービスセンター              |
| 石川県水産総合センター   | 水産庁 増殖推進部 漁場資源課                |
| 福井県水産試験場      | 独立行政法人 水産総合研究センター<br>日本海区水産研究所 |